

（課題名）大腸癌手術における前立腺合併切除症例の検討について

本調査研究の概要を以下に示します。【対象】に該当すると思われる方で、本調査研究に関するお問い合わせや調査の対象となることを希望されない場合は、担当医にお申し出ください。

【本調査研究の目的】

腹腔鏡手術・ロボット手術の進歩により精緻な手術が可能となり、出血コントロールをしながら拡大手術を行うことが可能となってきました。大腸癌前立腺浸潤例において膀胱温存すべきか明らかではないが、直腸切除により膀胱背側の支持組織が欠損することから、膀胱合併切除・回腸導管再建が選択されます。他臓器合併切除例では高度進行症例のため術後に化学療法が必要となる症例も多いが、尿路変更後腎盂腎炎の併発により化学療法の休止を強いられることもしばしば経験し、尿路合併切除時に至適な再建方法を確認する必要があります。当院で施行した大腸癌前立腺合併切除症例を対象とし、術後成績・術後尿路関連合併症について検証します。

【対象】

当院で施行した大腸癌前立腺合併切除症例を対象とします。

【情報の利用目的及び利用方法】

電子カルテの情報を基に上記項目のデータ抽出を行い、データ解析を行い、臨床病理学的特徴を検討します。

【調査項目】

年齢、性別、ASA-PS、既往、BMI、主訴、腫瘍マーカー、家族歴、病変部位、術前治療、術式、手術時間、出血、合併症、入院日数、病理学的診断、再発、予後情報
なお、必要な情報のみを統計資料として集計しますので、患者さんのお名前など個人を特定できる情報が明らかになることはありませんので、ご安心ください。

【調査対象期間】

西暦 2011 年 4 月 1 日 ～ 西暦 2023 年 4 月 30 日

【利用する者の範囲】

池嶋 遼、平木将之、畑 泰司、勝山晋亮、新毛 豪、木下 満、大村仁昭、杉村啓二郎、益澤 徹、武田 裕、村田幸平

【試料・情報の管理について責任を有する者】

関西労災病院 消化器外科 柳澤 公紀

【研究期間】

実施許可日から 2024 年 3 月 31 日（調査状況により調査期間を延長する可能性があります）

【当院の研究責任者】

柳澤 公紀

関西労災病院 消化器外科

〒660-8511 兵庫県尼崎市稲葉荘 3-1-69

TEL: 06-6416-1221（代表）

FAX: 06-6419-1870（代表）

E-mail: yanagisawa-kiminori@kansaih.johas.go.jp